

# 北九州港湾・空港整備事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

私ども北九州港湾・空港整備事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、北九州港の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。

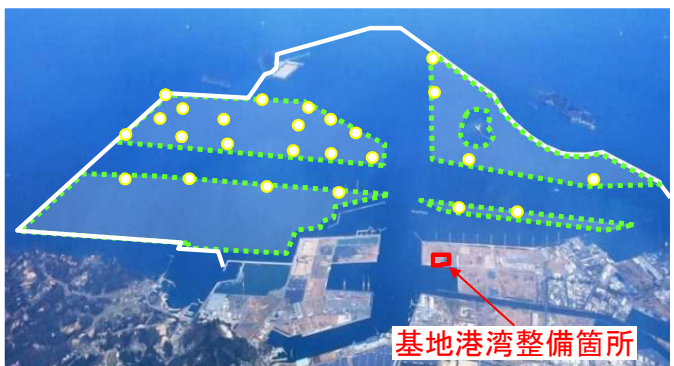


## 洋上風力発電導入促進のための 基地港湾整備

北九州港では、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成し、我が国全体の脱炭素化社会の実現に貢献していきます。  
現在、響灘地区においては、洋上風力発電設備の組立・搬出を効率化する基地港湾整備を進めています。基地港湾の整備によって、洋上風力発電導入が促進され、再生可能エネルギーの普及・拡大へつながります。



基地港湾整備の様子



北九州港響灘 洋上風力発電設置予定海域



## 耐震強化岸壁の整備

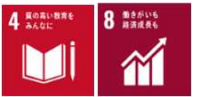
北九州港では、大規模地震が発生した際に、発生直後から緊急物資輸送や海上輸送機能を維持するため、耐震強化岸壁の整備を行っています。  
現在、西海岸地区において、老朽化した岸壁の改良に合わせ耐震強化対策を行っており、災害発生時にも持続可能な市民生活を維持するための、強靱なインフラ整備を行っています。



整備が完了した新門司地区



現在整備中の西海岸地区



## 出前講座・現場見学会の開催

北九州港湾・空港整備事務所では、「みなと」について関心を持ってもらい、「みなと」の役割や重要性を理解してもらうために出前講座・現場見学会を実施しています。  
普段の生活に「みなと」がどう関わっているのか、どういう工事をして、どのような効果があるのかなど、対象となる方に合わせ内容を工夫して分かりやすく説明をさせていただきます。



出前講座の様子

【目標】 2022年度:3回/年 → 2030年度:5回/年